

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

当院での切除不能な進行・再発の子宮体癌に対する Pembrolizumab＋Lenvatinib 併用療法の検討

1. 研究の対象

2022年2月1日から2023年1月31日までに、当院で Pembrolizumab＋Lenvatinib 療法を施行した方

2. 研究目的・方法

がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌に対して、Pembrolizumab＋Lenvatinib 併用療法が使用できるようになりました。しかし、副作用の報告が多くなされている状況です。当院での治療効果、副作用の種類・頻度・程度、減量や休薬について検討をします。

この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテを参照し年齢、診断名、治療内容、治療効果、副作用の種類・頻度・程度、減量・休薬などの情報を調べます。

4. 情報の提供先・提供方法

特になし

5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの直接的な資金提供はないため利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2380）

研究責任者 産婦人科／准教授 吉田 浩

問い合わせ担当者 産婦人科／助教 義澤 航平